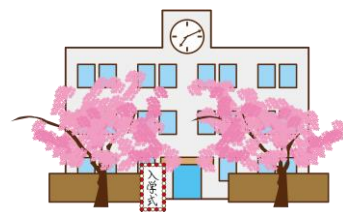


小中一貫教育通信

当別町立当別小学校
当別中学校
令和2年 4月 23日
文責当小 荒木 亜紀子



ご入学おめでとうございます！

例年よりずっと暖かな気候に恵まれた春。ここ当別町でも新1年生が新しい春を迎えました。皆様もご存じのように、例年とは違う形で、入学式を開かざるを得ませんでした。時間短縮や座席の工夫等を行い、無事に当別小学校・当別中学校の入学式を行うことができました。

小学校へ通常通りに通学できたのは、はじめの1週間だけでしたが、その数日だけでも新1年生はどんどん学校生活に慣れていきました。今後どのように学校生活が送れるのか、まだ予想することができませんが、学校が再開した際の子どもたちの成長が楽しみです。

また、中学校へ入学した新1年生も、少しずつ中学校の学校生活のリズムに慣れ、部活動を決めて活動を始める矢先に、2度目の休校となりました。学校生活が通常通りに送れないのは、学習面でも不安があると思いますが、個人の力を蓄える時期として有意義に過ごしてほしいと思います。



当別小学校 分散登校の様子

2月からの休校に伴い、数回の分散登校をしてきました。時間を区切って登校してもらったり、玄関先で先生方が一人一人児童の手への消毒を行ったり、距離を保った机の配置や子どもたちが校内（教室）にいる間の換気の徹底をするなど、職員全員でできることを行って参りました。先生方による下校後の消毒も毎日行われました。

分散登校は、休校中の課題を渡すことや、健康観察等を行うほかにも、精神的な不安を和らげる効果があるのではないかと思います。それは、玄関先で子どもたちが帰っていく際、登校時よりもみんなずっと明るい楽しそうな雰囲気です。お友達といつものように話をすることができなくとも、顔を合わせたり、先生からのお話を聞いたりすることで、一時であっても通常の学校生活を感じられるからだと思います。

先生たちのお便りや配付物には、子どもたちへの愛情をたくさん感じます。分散登校による短い滞在時間の中で、あたたかいパワーをもらい自宅学習に励み、元気に自宅生活を過ごしてほしいと願っています。

